

---

# Moon Knight ~月の騎士~

とある学校の生徒会長

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Moon Knight ～月の騎士～

### 【Nコード】

N6040R

### 【作者名】

とある学校の生徒会長

### 【あらすじ】

それは、裏の舞台で紡がれ、そして表の舞台に上がる独りの男の物語

月の騎士は、世界を駆ける……。

世界に、やさしい明日があることを信じて。空は、まだ遠い。

## 序章 騎士の目覚め（前書き）

みなさん、はじめまして。

TVアニメが始まる前から小説購入してニヤニヤしてたものなのですが。

つい、他作者さまの作品を読んで、自分も執筆に挑戦してみたい  
と思い、この作品で挑戦してみました。

初めてなので、稚筆、誤文があるでしょうが、やさしい目で見守っ  
てくださいますようお願いします。

言い忘れてましたが、この作品はいろいろと都合主義がオーバー  
ドローライブします。あしからず。

## 序章 騎士の目覚め

### 序章 騎士の目覚め

.....

夢を、見ている。

そう、遠き、遠き日の夢を。

「すまないな。 私は、もう、ここまでらしい。」

そんなこと言うなよ。 父さん。

まだ、まだそんな年寄りみたいなセリフを言う歳じゃないだろ？

3

「フツ・・・、 そうだな。 まだそこまで歳をとったつもりはないよ。」

じゃあ、なんで急にそんなことを言うんだよ？

「そうだな・・・。 だが、流石に病には勝てんさ。」

そんな事、言うなよ。

「本当に、すまないな。いつも迷惑ばかり掛ける。父親失格だな。」

そんな馬鹿なこと、母さんが知ったら怒るぞ。

「フ、フフツ。 そうだな。 . . . もうすぐ、あいつに会えるのか。」

4

だから、怒るって。 母さん。

「すまないな。だが、 . . . . . よ、お前は . . . . . 」

なんだよ、父さん。 聞こえないよ。

「ガウ・ラ……リア聖騎士団の……て、しっかり……」

「ツハ！！・・・。。。。。なんだ、夢か。」

なんだか妙にリアルな夢だった。質感もあったし、彼の手には何より温かみがあった。まだ頭がぼんやりする。寝起きだからだろうか？

そんな仕様のないことを考えながら、ベッドから起き上がり部屋を出る。背中の、冷や汗？が非常につつとおしかった。シャツが背中にくっついてる。

ぼんやりと、寝室兼自室の風景を眺める。

自分ひとり住むのには、この家は大きすぎる。

昔の夢を見た為か、普段よりも妙に家が大きく感じる。  
普段なら、こんなこと考えないのにな。と独りごちる。

父親だった人が死んでから既に12年。母親は物心付く前に死んでいた。

父親だった、というのは、どうやら本当の父親。肉親というわけでは無いかららしい。  
母親も同様だ。

しかし、二人とも、自分の子供のように……。いや、自分の子供として自分を扱ってくれた。

育て親だった人は、アル・ヴァン・ランクス。

生前は、どこかの軍のテストパイロットだったらしい。

詳しいことはわからない。

だが、自分も小さい時に少しだけ、体作りのことや訓練のことを教えてもらった記憶がある。

今も、父さんが残したノートに書いてあったトレーニング法を参考にトレーニングしてる。

まあ、そのトレーニングに果たして何の意味があるか、まだ意味があるのかはわからないが。

インフイニット・ストラトス

通称、「IS」という存在が、数年前に誕生して、世界は変わった。

8

男尊女卑ならぬ、女尊男卑。

「IS」を動かせるのは、女性のみ。

そんな現状が、今の社会を形作ったと言っている。

男が弱くて、女は強い。

少なくとも、一昔前にはそんな考えは無かった。

男女平等。過去の過ちを振り返って、それはおかしいと言って作られた理想のはずなのに。

少なくとも、虐げられる苦しみを、女性はわかっていたはずなのに。男の人だって、虐げていたワケではなく、結果的に、男の意見が優先されたのであって、

女性を奴隷のようにしていたワケではなかったはずなのに。理想が、現実になって、みんなで喜びを分かち合ったはずなのに。

いつも、過ちには得てして気づかないものなのだ、と実感させられる。

今の世の中は生きにくい。生きにくくなった。少なくとも、性別が男なら。

ISという存在を男が動かせたなら、状況が少しは変わっていたか

も知れなかったのに。

既に軍隊には男性の姿は少なく。

警察も、男性が少なく、女性が多い。

法律や、社会のルールだって女性が有利なように作り変えられれた。

いまや、この社会は女性中心に回っていると言っている。

「女が偉くて、当たり前」

そんな考えが、既に世の中に根付いているのだ。

カーテンを開けて、部屋に日差しを取り込む。

朝日はまぶしく、しかし、心は晴れなかった。

「クソ……。夢、のせいかな？」  
いつもならリフレッシュできるのに、とため息をついてから、体を  
ほぐす。

仕事……。か。

ISが世に出てから、男は基本的に、力仕事か、皆が就きたがらな  
い仕事しかできなくなった。

もちろん、例外もあるし、一部の店ではいまだに男手が重視され  
ているのも事実なのだ。

世の中には、廃墟が溢れた地域があり、そこには職にあぶれた男  
が溜まる。

そして、そんな人々を女性の警官が駆逐していく。  
そんな光景だって、頻繁に見られるようになってきた世の中だ。  
一体、男が何をしたっていうのだろうか。

謎、だ。

そんなことを考えても、答えが出るはずなのに、思わず考えてしまっ

自分は、パートタイムだが仕事があるだけ、マシなのか。  
アルが残してくれた、莫大な遺産があるだけ、マシなのか。  
アルの友人が、たまに面倒を見てくれるだけ、マシなのか。

「……………はあ、朝から何考えてるんだろ。」

二階の寝室から一階へ降りる。

純和風といった造りの屋敷は、寝室と台所以外は和風の家である。リビングにはたたみが敷いてあり、ちゃぶ台に座布団、テレビに多少のインテリアがある程度。

質素な家だ。家が広い分、古き日本庭園を思わせるものがある。

今年で21歳になる。

つまりこの世に生を受けて、早21年。

ISという存在は、この世界を歪め、世界に住む人々を歪めたのだ。

「……まあ、それでも生きるしかないんだけどね。」

着替えを済ませ、いつも身に着けているペンダントを握り、つぶやく。

このペンダントはアルから貰ったもので、どうやら、生前アルが大



それは、それは、とっても勇敢で、やさしい月の騎士のおはなし。  
彼は駆ける。世界を。その先にやさしい世界があると信じて。  
この日、運命の歯車が、ゆっくり、ゆっくりと動き出した。

## 序章 騎士の目覚め（後書き）

定期的に執筆する予定です。

作者のHPと、体調と、学校行事に予備校の都合に左右されるんですがね。

高3になり、来年受験なので、もしかしたら亀更新になるかもしれませんが、

どんなに時間がかかっても、必ず完遂させるので、できるならば最後までお付き合い

お願いします（´・`・´）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6040r/>

---

Moon Knight ~月の騎士~

2011年10月8日18時44分発行